

# Mizuho Daily Market Report

2024/5/9

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.34	155.53	+0.84	+0.96
EUR	1.0739	1.0748	▲0.0007	+0.0036
AUD	0.6570	0.6580	▲0.0018	+0.0057
SGD	1.3564	1.3555	+0.0010	▲0.0053
CNY	7.2261	7.2246	+0.0060	▲0.0165
MYR	4.7470	4.7415	+0.0028	▲0.0310
THB	36.99	36.96	+0.06	▲0.10
IDR	16061	16045	▲4	▲215
PHP	57.37	57.39	+0.15	▲0.39
INR	83.51	83.52	+0.00	+0.08
VND	25430	25433	+41	+99

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.494%	+3.7 bp	▲13.5 bp
日本(10年)	0.882%	+0.9 bp	▲0.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.462%	+4.2 bp	▲12.2 bp
オーストラリア(5年)	3.988%	+0.9 bp	▲19.1 bp
シンガポール(5年)	3.237%	+3.5 bp	▲16.5 bp
中国(5年)	2.127%	+1.7 bp	▲5.2 bp
マレーシア(5年)	3.730%	+0.0 bp	▲5.5 bp
タイ(5年)	2.537%	+1.4 bp	▲2.6 bp
インドネシア(5年)	6.947%	+2.8 bp	▲21.2 bp
フィリピン(5年)	6.497%	+7.9 bp	▲29.8 bp
インド(5年)	7.140%	+0.6 bp	▲5.6 bp
ベトナム(5年)	2.160%	▲2.0 bp	▲7.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,056.39	+0.4%	+3.0%
N225(日本)	38,202.37	▲1.6%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	5,038.17	+0.4%	+2.4%
ASX(オーストラリア)	4,544.24	+0.5%	+2.8%
FTSTI(シンガポール)	3,264.53	▲1.1%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,128.48	▲0.6%	+0.8%
SENSEX(インド)	73,466.39	▲0.1%	▲1.4%
JKSE(インドネシア)	7,088.80	▲0.5%	▲2.0%
KLSE(マレーシア)	1,604.75	▲0.1%	+1.8%
PSE(フィリピン)	6,659.18	+0.6%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,373.33	▲0.2%	+0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,250.46	+0.1%	+3.4%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	289.01	▲0.2%	+1.3%
金	2,308.85	▲0.2%	▲0.5%
原油(WTI)	78.99	+0.8%	▲0.0%
銅	9,767.35	▲1.3%	▲0.2%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.60	—	156.00
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3450	—	1.3680
USD/CNY	7.1950	—	7.2380
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/VND	25,000	—	25,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は154円台後半でオープン。その後は堅調に推移。衆院での植田総裁の発言や鈴木財務相の演説に目新しい内容はなく円売りが進むと、155円を突破。その後もじりじりと上昇を続け、155円台前半まで上値を伸ばし、そのままのレベルで海外時間に渡った。アジア通貨は引き続き軟調な展開が続いており、米ドルに対して下落している。

海外市場のドル円は155円台半ばでNYオープン。NY午前中は手掛かり材料が乏しい中、米金利が低下する展開が上値を抑え、155円台前半まで下落する。しかし、午後に入ってからコリンズ・ポストン連銀総裁が「インフレ率が持続的に2%に向かっているとの確信が高まるまで、政策を現在の水準に維持しなければならない可能性が高い」との考えを示すと、ドルが買い戻され、155円台半ばまで反発。そのままの水準でクローズ。

## 【金利】

米金利市場は、前日より反転し、長期で金利上昇となったことで、イールドカーブはスティープ化した。ニューヨーク未明は昨日の引け間隙から金利上昇したトレンドを引き継ぎ債券売りが優勢となっていた。朝方発表された3月卸売在庫はやや弱めの数字となった後は、買い戻しが見られたが、午後に発表された10年物国債入札の結果が弱めだったことでの売りが再度強まり、金利は引けにかけ上昇した。

## 【予想】

本日のドル円相場は引き続き、底堅い展開を予想。東京のゴールデンウィーク明け以降、連日円安が継続しており再び155円台まで円安は進展。3日ですでに3円以上円安が進展していることを踏まえると、急速な円安は日銀による為替介入懸念が想起されることもあり、上値は追いつくなくなるかもしれない。とはいえ、円安地合い自体は根本的には解消されておらず、ジリ円安は継続するものと思われる。

## 【本日の予定】

(日本) 3月 景気動向指数(速)  
(日本) 3月 毎月勤労統計 / 実質賃金総額  
(日本) 4月 東京オフィス空室率  
(アジア) 1Q フィリピン GDP  
(アジア) 3月 韓国 国際収支:貿易収支  
(アジア) 4月 中国 貿易収支  
(アジア) 4月 韓国 対家計銀行貸出合計  
(アジア) マレーシア 金融政策会合  
(アジア) 休場 インドネシア  
(欧州) 4月 英 RICS住宅価格  
(欧州) 伊 国債入札(12M)  
(欧州) 休場 スイス  
(欧州) 英 金融政策会合  
(米国) 国債入札(30Y)  
(米国) 新規失業保険申請件数  
(米国) 米トルコ首脳会談(ワシントン)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。